

研究結果報告書

澁澤文学における旅の構造

所属：文藻外国語大学 日本語学科

役職：准教授

氏名：林 淑丹

【研究のテーマ】澁澤文学における旅の構造

【研究結果】

澁澤龍彦の作品には旅をする人物がしばしば登場する。本研究では、澁澤龍彦の晩年の作品である「ねむり姫」、および彼の幻想文学の傑作である『高丘親王航海記』などを例として、そこに表現されている旅の構造を解明した。

この研究の成果は、三本の学術論文として、韓国の学術誌と台湾の学術書に発表された。

まず、「澁澤文学における旅に関する一考察」（韓国日本語文化学会「2014年度春季国際学術大会」）では、「ぼろんじ」における男女の旅に、分身の幻影や自己像幻視の性格が強く内包されているということ、そして「うつろ舟」で漂流してきた女人は、覗かれるオブジェの造形を逆転させ、破滅的で主導権をもつ主体に変容していったことを明らかにした。

また、「流転と再生の旅——澁澤龍彦「ねむり姫」を読む」（韓国日本語文化学会『日本語文化』27輯、2014年）では、主人公の旅の構造が水に回帰し、再生へと向かうようになっている点を解明した。

さらに、「尋光之旅：論《高丘親王航海記》」（台湾・国立中山大学人文研究センター『海洋、地理探索與主體性』所収、2015年）では、『高丘親王航海記』に表現されている旅の構造と特徴を明らかにした。『高丘親王航海記』の航行は、親王が死へと向かう旅だと言える。しかし、ここでの死は生命の終点ではなく、永遠の生命としての光へと向かう転換点である、ということを実証した。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

題名 「澁澤文学における旅に関する一考察」
発表者名 林淑丹
会議名 「2014年度春季国際学術大会」(韓国・韓国日本語文化学会)
日時 2014年5月10日
場所 韓国・ソウル

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

題名 「流転と再生の旅——澁澤龍彦「ねむり姫」を読む」
発表者名 林淑丹
論文掲載誌 韓国日本語文化学会『日本語文化』27輯
掲載時期 2014年4月

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)

題名 「尋光之旅：論《高丘親王航海記》」(『海洋、地理探索與主體性』共著)
著者名 林淑丹
出版社 台湾・国立中山大学人文研究センター
発行時期 2015年3月